



ボールの弾む音、キュキュッというシューズの鳴る音が体育館に響き渡る。「始めるぞ～」という声が掛かると、センターサークルに集まり、チーム分けのじゃんけん、そして練習ゲームが始まります。中には中学生の子供と一緒に練習へ訪れるメンバーも!! 今回は、毎週火曜日の夜、多古中学校の体育館で、年代を超えてバスケットボールを楽しんでいる『レイクス』を紹介します。

もともと、多古町バスケットボールクラブとして活動していたこのサークルは、優に30年以上も活動を続けています。西暦2000年を迎えて心機一転『レイクス』と名を変え、ユニホームも新調しました。サークル名は、昔『多湖町』だったという説に由来しています。ちょっと珍しいのは練習メニューがゲーム形式中心というところ。2面あるコートのうち、1面は常にゲームを行っています。バスケットボールの試合は、5人対5人で行うものですが、たとえ人数がそろわなくても、3人対3人、4人対3人などの変則形式でゲームを始めます。そこへ各自が都合のつく時間に来て、準備が整ったとこ

サークル CIRCLE ZUKAN 鑑

第28回

バスケットボールサークル 『レイクス』

- ①活動歴 30年以上
- ②年齢層 20代～40代の男女
- ③活動場所 多古中学校体育館
- ④活動時間 毎週火曜日
20:00～22:00
- ⑤代表者 萩原克彰(はぎわら かつあき)
- ⑥連絡先 ☎(75)0450

ろでゲームに加わっていくというスタイルなのです。人数が多いときは、隣のコートでシューティングなどをして、思い思いに次のゲームまで過ごしています。「とにかくうちは自由。各自ゲームで実践していくだけ」と、メンバーは話します。

こんな練習状態では…と思いきや、侮るなかれ!! 一昨年と去年は郡民体育大

会優勝。匝瑳市主催秋季勤労者バスケットボール大会でも見事優勝を飾りました。みんなバラバラのようで、ここのチームワークはバッチリ。メンバーに共通しているのは、バスケットボールを愛するハート。プレーだけでなく、バスケットボールの楽しさを知ってもらいたいと、後進の指導や中学生の大会「多古杯」の後援、ミニバスケットボールの指導にも積極的に協力しています。

目下の目標は、県民体育大会での1勝。郡大会は優勝できても、なかなか勝つことができません。そんなレイクスでは、一緒に楽しくプレーするメンバーを募集しています。未経験者も大歓迎です!!

スポーツの秋、あなたも体育館に遊びに来てみませんか?



編集後記

★この夏、海へ行ってきました。もちろん、栗山川沿いを自転車です!! ★夏休み最後の日曜日、朝、息子(小1)と娘(小6)と一緒に、自宅を自転車で颯爽と出発。猛暑となる日が容易に予想できるほどの強い日差しの下、コンビニから中村新田を経由して栗山川の堤防へ。「あつ!! 家山子がある」「あれ何て鳥?」などと話も弾み、出足は快調です。途中で道は砂利になったり、草のトンネルになったり。また河川工事のため、一般の道路へ出ることも。こうして普段目にできない栗山川の姿を眺めながら、無事に木戸浜へ到着。約2時間の冒険は20キロの道のりでしたが「思ったより海は近い!!」と感じました★あらかじめ海水浴場の駐車場に停めておいたトラックへ自転車積み込み、ホッとした私に「海で遊んでいこうよ!!」と元気な子供たち。「水着が無いからなあ」と抵抗してはみたものの：★子供に甘いと聞いても言われる父ですから、家で水着に着替えた3人が出直し、海で遊んだのは言うまでもありません。

★今月は、たくさんの中学生にお話を伺いました。ほとんどの子が「大変だったけれど、先生や仲間、家族の協力があったからやってこれた」と、感謝の気持ちを語ってくれました★私たちのころは、県大会に行くことが最大の目標でしたが、今や関東や全国、国体に行く子たちがいるなんて、よそ様のお子さんとはいえず、自分のことのように嬉しいものです★中には家の子どもと同級生も。久しぶりに会ったら、たくましく、大人っぽくなっていて、その競技したる姿は、世界陸上に出場したアスリートと何ら変わりないように思えました★ベンチプレスで100キロ以上あげられるという子もいて、その子のお母さんに軽くお姫さま抱っこできるわよおことのお誘い♥しかしながらお姫様だっこという響きに躊躇してしまつた私。今さらお恥ずかしいと固辞したものの、もう一生そんな機会もないだろうから、記念に抱っこしてもらえば良かったかなと、後悔しています。